

函館港

函館市港湾空港部

〒040-8666 函館市東雲町4-13

☎0138-21-3485

URL : https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soshiki/kouwan_dept/



1. 概況

〈沿革〉

函館港は北海道の南西部渡島半島の南端に位置し、太平洋と日本海とを結ぶ津軽海峡に面しており、本州と北海道とを結ぶ要衝の港として知られ、その形状から「巴港」または波が穏やかで船を繋ぐ必要もないことから「綱知らずの港」とも言われている天然の良港である。

古くから本州との交易に利用され、「新羅之記録」(江戸初期の松前藩による書)によれば、室町時代前期の箱館(明治2年「函館」に変更)では若狭(今の福井県西部)からの商船が年3回来ており、当時から蝦夷地の昆布は箱館を通じ、関西へ移出されていた。

嘉永7年(1854年)、来航したペリーと幕府との間で日米和親条約が締結され、安政2年(1855年)、箱館港は外国船の補給港として開港された。ペリーは条約締結後に調査のため箱館港に入港しているが、箱館港について「安全性という点では、世界で最もすばらしい港の一つ」と報告している。さらに、安政5年(1858年)の日米修好通商条約締結により安政6年(1859年)には外国貿易港として開港された。開港場となった箱館では、外国貿易が行われると共に、外国からの宗教、学問、文化が流入し、箱館の街は飛躍的に発展した。

明治期以降の函館は、港内および背後圏に造船業をはじめ各種産業が成長し、また漁業基地としても地位を固め、特に大正期から昭和戦前期にかけては北洋漁業基地として繁栄した。戦後は漁区が大きく制限され北洋漁業は縮小の一途をたどり拠点港としての役割を終え、代わりに現在の函館名物のスルメイカ漁を始めとした沿海漁業の拠点と変わっていった。

函館と青森間の航路は、明治6年(1873年)に開拓使によって開設され、明治41年(1908年)から昭和63年(1988年)まで国鉄が青函連絡船を運航した。その後、昭和39年(1964年)に函館～大間に民間による日本初の外洋フェリーの運航が開始され、昭和42年(1967年)、青森港との間にもフェリーが就航し、本州と北海道とを結ぶ物流の要衝となり、現在もフェリー貨物が本港の主要な取扱い貨物となっている。

昭和26年(1951年)に重要港湾に指定され、昭和28年(1953年)に函館市が港湾管理者となった。

〈函館港の整備〉

函館港の港湾整備は享和元年(1801年)から幕府および高田屋嘉兵衛により埋立が行われ、堀割と造船所が建設されたのが、はじまりとされている。その後、港の利用増加とともに

に港湾施設の整備が進み、幕末から明治初期にかけて、官・民により港内各所で倉庫用地や造船所用地などの埋立造成が行われ、荷役施設として掘割や物揚場が建設された。

近代的な港湾整備としては、明治29年(1896年)からの第1期函館区営改良工事により外郭施設などの整備が行われたのをはじめ、各種事業により防波堤、国鉄青函連絡船施設、公共ふ頭、民間企業用地造成等着々と整備が行われている。

青函連絡船の廃止後は函館港の再開発が行われ、港町ふ頭においては、平成14年に水深14m岸壁、平成16年には水深12m岸壁が供用され、平成17年5月には外貿コンテナ航路(韓国・中国航路)が開設されており、これまで函館港での取扱いの無かったコンテナ貨物の取扱いが行われている。平成29年(2017年)には、北海道と本州を結ぶ大動脈であるフェリー機能の強化および、大規模地震発生時における復旧活動拠点として函館港において唯一の北ふ頭耐震強化岸壁が供用した。また、同年、臨港地区内の物流機能の向上を目的とし平成9年(1997年)に第1工区約2.7kmが開通した幹線臨港道路は、第2工区の約3.9kmが完成し、全面開通した。

〈現況と将来計画〉

函館港は、南北海道唯一の重要港湾である。令和5年(2023年)実績では全道取扱貨物量の16.3%にあたる3,028万トンの貨物を取り扱っており、南北海道の物流拠点としての役割のほか、本州～北海道間フェリーの発着場として国内全体の物流に多大な影響を持つ港である。加えてクルーズ船の寄港地としての人気が高く、また、歴史的な景観を生かしたウォーターフロントは多くの市民や観光客で賑わっている。

現在、函館港では平成17年4月改訂の港湾計画に基づき、「賑わいと親しみあふれる活力ある函館港」を目指しており、国際観光都市として賑わいと魅力あるウォーターフロントの整備、地域の特性を活かした国際的な水産・海洋に関する学術・研究拠点の形成などを進め、若松地区においては、令和4年(2022年)8月に、道内初のクルーズ船専用ターミナルビル「函館クルーズターミナル」を含む若松地区旅客ふ頭が完成し、令和5年(2023年)から供用開始した。弁天地区においては、函館国際水産・海洋都市構想の中核施設となる函館市国際水産・海洋総合研究センターとの一体利用可能な岸壁整備を進めている。

今後も、陸・海・空の交通の要衝といった本市の特性を生かし、国内はもとよりインバウンドの集客にも力を注ぎ、函館を拠点とした周遊観光の確立を目指す。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	117	4,792,808	44	4,273,353	16	317,087	6	53,007
内航商船	2,215	6,241,133	4	201,776	53	764,893	122	929,105
自航	6,059	31,072,630					2,589	22,882,996
その他	1,742	1,318,780	7	479,208	22	293,500	6	48,048
合計	10,133	43,425,351	55	4,954,337	91	1,375,480	2,723	23,913,156

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	13	56,446	38	92,915				
内航商船	804	3,421,915	103	176,184	619	502,428	510	244,832
自航			3,470	8,189,634				
その他	21	77,104	104	183,443	164	130,894	1,418	106,583
合計	838	3,555,465	3,715	8,642,176	783	633,322	1,928	351,415

最大入港船舶のトン数 171,598総トン（喫水 8.5m）

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	133,594	100.0			82,643	61.9			1,561	1.2
輸入	274,853	100.0					249,010	90.6	3,030	1.1
計	408,447	100.0			82,643	20.2	249,010	61.0	4,591	1.1
移出	4,689,388	100.0			40,484	0.9	2,058,175	43.9	8,081	0.2
移入	2,004,957	100.0	48,818	2.4			545,096	27.2	30,886	1.5
計	6,694,345	100.0	48,818	0.7	40,484	0.6	2,603,271	38.9	38,967	0.6
合計	7,102,792	100.0	48,818	0.7	123,127	1.7	2,852,281	40.2	43,558	0.6

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出							49,390	37.0		
輸入	22,813	8.3								
計	22,813	5.6					49,390	12.1		
移出	2,494,324	53.2	35,944	0.8	10,448	0.2	41,932	0.9		
移入	1,363,866	68.0	2,844	0.1	5	0.0	13,442	0.7		
計	3,858,190	57.6	38,788	0.6	10,453	0.2	55,374	0.8		
合計	3,881,003	54.6	38,788	0.5	10,453	0.1	104,764	1.5		

太字は自動車航走船取扱貨物（外数）で、計及び合計に含まない

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	146,039	73,115	72,924
内国航路	373,347	184,798	188,549
計	519,386	257,913	261,473

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力(t)	基数	棟数	使用面積(m ²)	
(公 共)											
弁 天 地 区	A 岸 壁	5.0	210	6,000	1						
	B 岸 壁	6.5	250	6,000	1						
西 ふ 頭	D 岸 壁	5.0	140	1,000	2						
	E 岸 壁	9.0	165	10,000	1				2	2,902	
	F 岸 壁	6.5	105	3,000	1						
豊 川 ふ 頭	岸 壁	5.0	530	1,000	7				2	16,409	水産品
若 松 ふ 頭	岸 壁	10.0	360	G/T 110,000	1						
海 岸 町 船 だ ま り	2号船溜第1岸壁	5.0	70	1,000	1						
	2号船溜第2岸壁	4.5	200	G/T 50	5						
	4号船溜正面岸壁	6.5	270	G/T 500	4						
	4号船溜南側岸壁	6.5	190	G/T 500	2						
	4号船溜第1岸壁	5.0	210	G/T 100	4						
	4号船溜第2岸壁	5.0	150	G/T 100	3						
	4号船溜第3岸壁	5.0	210	G/T 100	4						
中 央 ふ 頭	南 側 岸 壁	8.0	133	7,000	1						
	正 面 岸 壁	5.5	130	1,000							
	北 側 第 1 岸 壁	9.0	171	10,000	1				1	1,503	原木
	北 側 第 2 岸 壁	9.0	165	10,000	1						
	北 側 第 3 岸 壁	5.5	90	3,000	1						
万 代 ふ 頭	正 面 岸 壁	10.0	185	15,000	1	タイヤマウント式、 ニューマチックU	t/h 200	1			麦 金属くず 原木
	南 側 第 1 岸 壁	7.5	130	5,000	1						
	南 側 第 2 岸 壁	5.5	90	2,000	1						
	北 側 第 1 岸 壁	7.5	130	5,000	1						
	北 側 第 2 岸 壁	5.5	90	2,000	1						
北 ふ 頭	南 側 岸 壁	5.5	90	2,000	1						石材 フェリー セメント 砂・砂利 砂・砂利
	正 面 岸 壁	6.5	190	G/T7,000	1						
	北 側 岸 壁	7.5	130	5,000	1						
	B 岸 壁	5.5	330	2,000	3						
	A 岸 壁	5.5	51	700	1						
港 町 ふ 頭	A 岸 壁	14.0	280	50,000	1						金属くず
	B 岸 壁	12.0	240	30,000	1	タイヤマウント式、 ジブC	40	2	1	900	
港 町 けい 船 杭 (私 設)	けい 船 杭	5.5	243	2,300	1						LNG
有 川 ふ 頭 (日 本 貨 物 鉄 道 株 式 会 社)	第 5 岸 壁	7.0	152	G/T 5,500	1						
函 館 ど つ く (株)	岸 壁	6.0	103	2,000	1						
	岸 壁	10.0	450	10,000	2						
	ド ル フ ィ ン	6.0	286	2,500	2						
	岸 壁	5.0	70	499	1						
	岸 壁	6.5	130	3,000	1						
	岸 壁	6.5	360	G/T3,200	2						
岸 壁	8.0	194.5	6,000	1							
(株) 池 見 石 油 店	ド ル フ ィ ン	6.0	28	2,500	1						
(株) 北 海 道 エ ネ ル ギ ー	ド ル フ ィ ン	5.0	27	2,500	1						重油、石油製品

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面 水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟 数	使用 面積 (㎡)	
(私設)											
北海道ファイ ンケミカル(株)	岸壁	5.0	130	1,000	1						魚油
エア・ウオーター(株)	ドルフィン	6.0	15	2,500	1						LPG
出光興産(株)	ドルフィン	7.5	39	7,076	1						重油、石油製品
コスモ石油(株)	ドルフィン	4.5~ 7.5	294	500~ 6,000	3						重油、石油製品
函東工業(株)	栈橋	6.0	85	G/T 3,000	1						
津軽海峡フェリー	栈橋	5.0	125	G/T 1,000	1						フェリー
	栈橋	6.0	160	G/T 3,000	1						フェリー
	栈橋	6.5	193	G/T 6,000	2						フェリー
	栈橋	6.5	172	G/T 6,000	1						フェリー
	ドルフィン	12.0	30	163	1						
(株)マルカツ興産	栈橋	4.5	58	G/T 199	1						

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場	-	39,474㎡
普通倉庫		
1~3類倉庫	99	85,621㎡
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	20	20,136㎡
冷蔵倉庫	21	51,807㎡
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(㎡)
泊地	3.5~14.0	1,657,377
錨泊地 (被覆内)		
Bサークル	11.9	196,250
Cサークル	10.9	151,976
(被覆外)	9.0	7,012,300
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地 (被覆内)		
Aサークル	8.2	96,162

港湾関連施設	
名称	延床面積(㎡)
函館クルーズ ターミナル	1,234

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	30,284
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

港町地区

埠頭名	港町ふ頭
ターミナル面積	3.1ha
岸壁延長	240m
水深	12.0m
荷役機械	JC2基
アウトリーチ	29m
リーファープラグ	32基
荷役方式	リーチスタッカ方式

5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下架施設 (能力、基数)	泊地水深 (m)	開設年度	関連施設	
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボートヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧橋 (隻分)					固定棧橋 (隻分)
(有)一映マリーナ企画 〒041-0821 函館市港町1-35-7 ☎0138-45-3122	533.75 (駐車場を除く)	4148.33	-	126	40	-	86	-	クレーン 1基	3.8 ～ 5.5	昭和63 年度	駐車場
はこだてマリーナ 弁天町21番地 指定管理者：(株)マリンプラザ 伊藤 〒049-0122 北斗市東浜2丁目 14-17 ☎0138-73-5220	8,860 (駐車場含む)	22,540	-	-	30	-	127	3		1.0 ～ 5.0	平成20 年度	

6. 緑地

名称	区分	面積(㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
北ふ頭緑地		1,295	-	休憩緑地	昭和51年度		
若松ふ頭緑地		3,816	-	休憩緑地	平成2年度		
若松地区南緑地		1,987	-	休憩緑地	平成8年度		遊歩道
豊川地区緑地		350	-	休憩緑地	平成9年度		
臨港東雲緑地		4,730	-	休憩緑地	平成12年度		遊歩道
大町緑地(緑の島)		76,638	1,118	シンボル緑地	平成26年度		遊歩道、駐車場ほか
西ふ頭地区緑地		112	-	休憩緑地	平成26年度		
末広緑地		3,430	-	休憩緑地	令和3年度		展望広場

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種				
			一 般	港湾荷役			は し か だ
				港 湾 荷 役 (一貫)	船 内	沿 岸	
日本通運(株)函館支店	〒041-0821 函館市港町1丁目35-7	0138-43-5115	○	○	○	○	○
函館丸和港運(株)	〒040-0075 函館市万代町17-3	0138-42-7007	○	○	○		
北海運輸倉庫(株)	〒040-0061 函館市海岸町21-23	0138-41-0719		○	○		○
函港作業(株)	〒040-0075 函館市万代町19-32	0138-41-7128		○	○		○

水先

水先区	水先入会事務所所在地	電話番号	会員数
函館	〒040-0061 函館市海岸町25-8	0138-40-8435	1

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
函館ポートサービス(株)	〒040-0061 函館市海岸町22-5	0138-43-5681	3,200~4,000馬力	4

通船

名称	所在地	電話番号	隻数
共同通船(株)	〒040-0061 函館市海岸町25-8	0138-40-8401	4

船舶給水

名 称	所 在 地	電話番号
函館市港湾空港部管理課ふ頭管理事務所	〒040-0061 函館市海岸町24-16	0138-41-3543

医療・厚生施設

(港湾)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
総合厚生	函館港湾福利厚生会館	〒040-0061 函館市海岸町22-5	0138-41-0363

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
函館市ふ頭管理事務所	〒040-0061 函館市海岸町24-16	0138-41-3543
函館海上保安部	〒040-0061 函館市海岸町24-4(函館港港湾合同庁舎内)	0138-42-1118
函館税関	〒040-0061 函館市海岸町24-4(函館港港湾合同庁舎内)	0138-40-4218
札幌出入国在留管理局函館出張所	〒040-0061 函館市海岸町24-4(函館港港湾合同庁舎内)	0138-41-6922
小樽検疫所函館出張所	〒040-0061 函館市海岸町24-4(函館港港湾合同庁舎内)	0138-59-0248
横浜植物防疫所札幌支所函館出張所	〒040-0061 函館市海岸町24-4(函館港港湾合同庁舎内)	0138-42-6671
動物検疫所北海道・東北支所函館空港出張所	〒042-0952 函館市高松町511	0138-84-5415
北海道開発局函館開発建設部築港課	〒040-8501 函館市大川町1-27	0138-42-7635
北海道開発局函館開発建設部函館港湾事務所	〒040-0061 函館市海岸町25-7	0138-41-4156
函館地方海難審判所	〒040-0061 函館市海岸町24-4(函館港港湾合同庁舎内)	0138-43-5045
北海道運輸局函館運輸支局	〒041-0824 函館市西桔梗町555番24	0138-49-9901
函館地方气象台	〒041-0806 函館市美原3-4-4	0138-46-2211
北海道農政事務所函館地域拠点	〒040-0032 函館市新川町25-18(函館地方合同庁舎内)	0138-26-7800
北海道財務局函館財務事務所	〒040-0806 函館市美原3-4-4(函館第2地方合同庁舎内)	0138-47-8445

